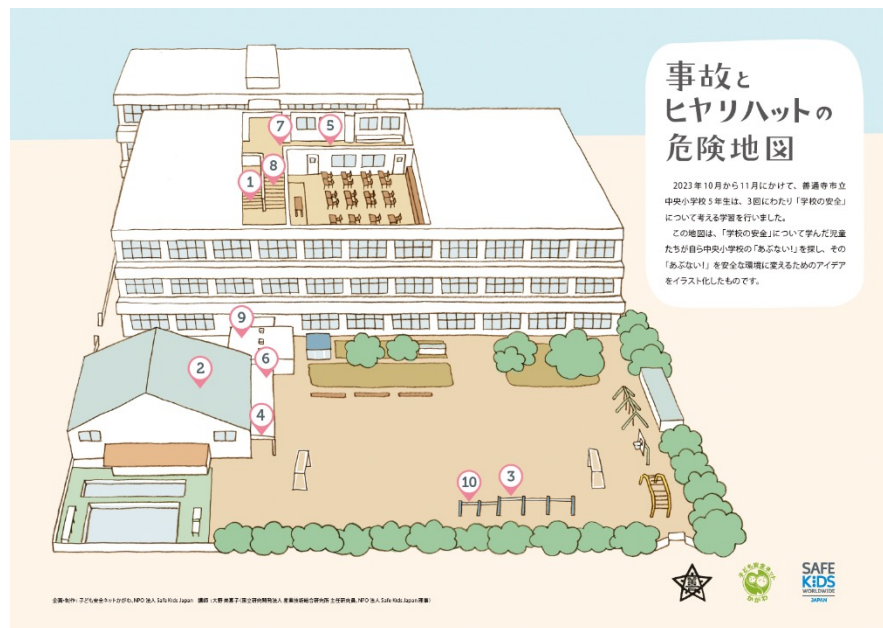


2023年度 Safe Kids Japan 活動概要



小学生向け安全授業の実施



事故とヒヤリハットの危険地図

みんなが見つけた「学校のあぶない」と、その解決策



香川県善通寺市内のすべての小学校5年生を対象に実施してきた安全授業。傷害予防の考え方を学んだ児童が、自身の学校の「あぶない！」を探して撮影、どうすれば大きなケガをしない環境にできるかを考え、発表する。2023年度は、市立竜川小学校と中央小学校で安全授業を実施した。

小学生対象「アイデアコンテスト」の実施



アイデアコンテスト
みんなの毎日を
安全に楽しく!

探検! 発見! 生活の中にある「キケン」と「あんぜん」

アイデアやエピソード
募集

募集期間

2023年11月1日(水)～11月30日(木)

募集内容

“生活の中にある「キケン」と「あんぜん」”をテーマとした、
写真付きストーリーや夢のアイデアを広く募集します。

対象：小学生（1年生から6年生）

＊賞に選ばれた応募者の方には、賞状と記念品を贈呈します。

【お問い合わせ先】 NPO 法人 Safe Kids Japan E-mail: contest@safekidsjapan.org



【主催】 NPO 法人 Safe Kids Japan
【協賛】 経済産業省 / 消費安全 / こども消費庁
【協力】 アマゾンジャパン合同会社
NPO 法人とつぎよう・はっぱーくらぶ

「こども自身が、自分たちの危険や安全について考えるきっかけとする」、そして「おとなが、こどもの視点を垣間見ることで、製品開発を含む、より安全な環境作りにつなげる」ことを目的に実施した小学生対象の「アイデアコンテスト」。

日本全国、そして海外に住む小学1年生～6年生の児童から14の作品が送られてきた。

いずれも、こどものケガを減らすための基本的な考え方である「変えられるものを見つけ、変えられるものを変える」ことを具体化するアイデアばかりであった。

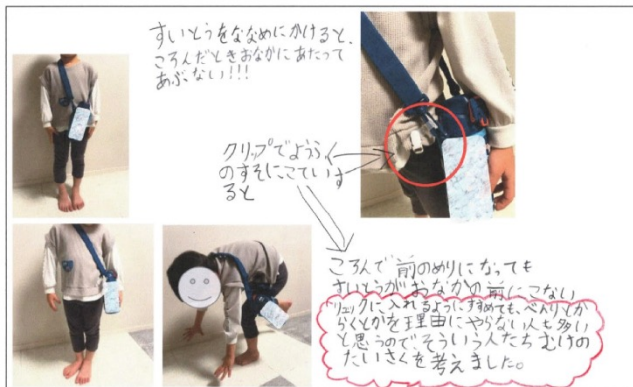
小学生対象「アイデアコンテスト」の実施

SAFE
KIDS
WORLDWIDE
JAPAN

最優秀賞

(応募用紙)

タイトル: すいとうななめがけストッパー



最優秀賞

すいとうななめがけストッパー

学年: 2年生

経済産業省
佐藤 猛行先生

毎日水筒を使っている子どもならではの視点としました。「クリップ」というちょっとした工夫で被害拡大を防ぐことができる素晴らしいアイデアだと思います。

審査員 (敬称略)

佐藤 猛行

経済産業省 産業保安グループ製品安全課 課長

釘宮 悦子

公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 標準化委員会委員長

中原 俊三郎

武蔵野美術大学教授 公益社団法人 日本インダストリアルデザイン協会 理事

川崎 修

NPO 法人 とうきょう・はっぴーくらぶ理事長

西田 佳史

東京工業大学教授 NPO 法人 Safe Kids Japan 理事

大野 美喜子

NPO 法人 Safe Kids Japan 理事



授賞式

シンポジウムの運営 その1



日本学術会議主催 公開シンポジウム

動き出す、 こどもまんなか安全社会

2023 オンライン開催

9.16 土 13:00
16:30

- 第1部 13:10 ~ こどもの傷害を減らす仕組みづくり
- 第2部 15:20 ~ 動き出す、こどもまんなか安全社会
- 第3部 16:00 ~ 総合討論

【開催趣旨】

事故によるこどもの傷害は多発しており、傷害データを活用し、こどもの傷害の数を減少させる仕組みの構築が急務となっています。第25期日本学術会議子どもの成育環境分科会では、見解（案）「こどもの傷害を減らすためのデータ収集および利活用の促進」を取りまとめた。

本シンポジウムでは、見解（案）で示した目指すべき社会像と、その社会像の実現に向けて動き出している新たな取り組みを紹介し、課題の指摘にとどまることなく、国や地域で始まっている新たな胎動を参加者と共有し、また、今後、社会実装を進める上での関係者間のネットワークづくりを促進したいと考えています。

【参加方法】

Zoom ウェビナー参加者 500 名（当日参加申請をしていただいた方から先着順）開始時間になりましたら QR コードからご参加ください。



主催：日本学術会議臨床医学委員会・心理学・教育学委員会・健康・生活科学委員会・環境学委員会・土木工学・建築学委員会合同子どもの成育環境分科会
後援：公益社団法人こども環境学会、公益社団法人日本小児科学会、公益社団法人日本小児保健協会、東京消防庁、こども家庭庁、消費者庁、東京都

【問い合わせ】 NPO 法人 Safe Kids Japan (e-mail: info@safekidsjapan.org)

日本学術会議が主催するシンポジウムを運営。事故による子どもの傷害は多発しており、傷害データを活用し、子どもの傷害の数を減少させる仕組みの構築が急務となっている。

日本学術会議 第25期子どもの成育環境分科会では、見解（案）「こどもの傷害を減らすためのデータ収集および利活用の促進」を取りまとめた。

このシンポジウムでは、見解で示した目指すべき社会像と、その社会像の実現に向けて動き出している新たな取り組みを紹介する。

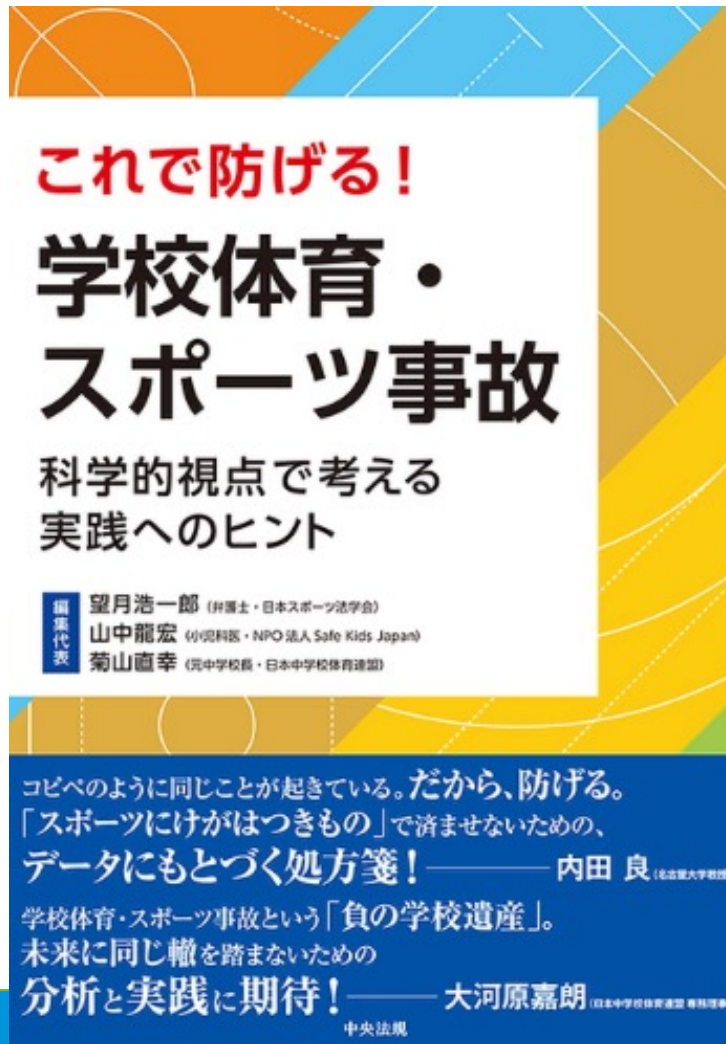
本シンポジウム後、見解案は2023年9月28日に日本学術会議の正式な「見解」として公開された。



[見解 こどもの傷害を減らすためのデータ収集および利活用の促進](#)

7

書籍の発行



2017年度から行ってきた学校体育・スポーツ事故に関する調査・研究・検討の集大成として、書籍を発行。シンポジウムで取り上げたテーマをはじめ、学校管理下で起きている重大事故について、データに基づいた科学的な再発予防策を提示した。

シンポジウムへの協力



東京都セーフティ・レビュー事業キックオフシンポジウム

子供が事故から守られ、思い切り
チャレンジできる環境をつくる

2024 オンライン開催

3.27 水 13:30
15:00

【開催趣旨】

東京都では子供の笑顔あふれる社会の実現に向けて「チルドレンファースト」の理念のもと、令和5年度から、子供の傷害データを活用し、科学的な手法に基づき、効果的な事故予防策の開発と普及を目指す事業（東京都セーフティ・レビュー事業（基礎研究事業））が始まりました。

本シンポジウムは、東京都セーフティ・レビューが目指す傷害予防の姿、データ分析から見えてきた新たな課題、傷害予防に関する最新の世界動向、アカデミアから見た事業の位置づけ等に関する情報共有を目的として開催します。

【参加方法】

Zoom ウェビナー参加者 500名（当日参加申請をしていた方から先着順）開始時間になりましたらQRコードからご参加ください。



【事業に関する問い合わせ】 東京都子供政策推進室企画調整部 Email: S1110301@section.metro.tokyo.jp
【セミナーに関する問い合わせ】 東京工業大学・生活セントリックデザインラボ Email: info@icdlab-titech.com

東京都では令和5年度から、子供の笑顔あふれる社会の実現に向け、「チルドレンファースト」の理念のもと、子供の傷害データを活用し、科学的な手法に基づいて効果的な事故予防策の開発と普及を目指す事業（東京都セーフティ・レビュー事業（基礎研究事業））が始まっている。

本シンポジウムは、東京都セーフティ・レビューが目指す傷害予防の姿、データ分析から見えてきた新たな課題、傷害予防に関する最新の世界動向、アカデミアから見た事業の位置づけ等に関する情報共有を目的として開催される。

Yahoo!ニュース（エキスパート）



子どもの傷害予防に取り組む
～ 変えられるものを見つけ、変えられるものを変える ～

山中龍宏



WATER SAFETY



HOME SAFETY



CAR SAFETY



FIRE SAFETY



山中龍宏 エキスパート

safekidsjapan2016

小児科医／NPO法人 Safe Kids Japan 理事長

② エキスパート認定マークについて

わが子がケガをした～動画による発信の重要性と「市民科学」のす
すめ #こどもをまもる

山中龍宏 エキスパート | 小児科医／NPO法人 Safe Kids Japan 理事長
2023/6/12(月) 8:00



ミニトマトによる乳幼児の誤嚥を防ぐ～食品メーカーのコマーシャ
ル映像への取組み #こどもをまもる

山中龍宏 エキスパート | 小児科医／NPO法人 Safe Kids Japan 理事長
3/4(月) 8:00



乳幼児の転落を予防する — 補助錠の全戸配布ははたして有効
か？ #こどもをまもる

山中龍宏 エキスパート | 小児科医／NPO法人 Safe Kids Japan 理事長
2023/10/20(金) 12:44



「こどものケガを減らすために みんなをつなぐプラットフォーム Safe Kids」の運営

季節ごとに
起こりやすい
ケガ

詳しくはこちら

みんなの声

ケガを減らすための
ライブラリ

安全性の高い
製品のご紹介

2023年2月に公開したプラットフォームの運営を行った。このプラットフォームに消費者の声を寄せてもらい、それを企業や行政に伝えて、こどもを取り巻く製品や環境を変えることでこどものケガを減らすということを実践している。

 [こどものケガを減らすためにみんなをつなぐプラットフォーム Safe Kids](#)

「こどものケガを減らすために みんなをつなぐプラットフォーム Safe Kids」の運営



みんなの声

こどものケガの事例や、ケガを減らすために役立つ情報をお寄せください。投稿いただいた情報は、Safe Kids内で確認のうえ、「ケガを減らすためのライブラリ」にて公開いたします。また、TwitterやInstagramなどのSNS等を通じても発信させていただきます。



「こどもを育てている方」からの投稿
保育園に向かう途中の歩道にある看板。
こどもの顔の高さに角がある。

つながる NPO法人Safe Kids Japan主催

抱っこ紐の 選び方お話し会

4/25(木)10:00~11:00

無料 録画あり

抱っこ紐でお馴染みの
2社から講師をお招き！

抱っこ紐の種類や特徴、
自分にあった選び方が
わかります♪

ベビービョルン エルゴベビー

「企業・団体」からの投稿

抱っこひもに関する質問が寄せられたことを受けて、「抱っこひも安全協議会」メンバーが、抱っこひもの「選び方」や「使い方」をレクチャー。

「こどものケガを減らすために みんなをつなぐプラットフォーム Safe Kids」の運営



プラットフォームと連動して展開しているInstagram。



[Safe Kids の Instagram](#)

調査・分析

転落現場の調査
(東京都子供政策連携室)



補助錠の評価実験－補助錠の取り付け・取り外し実験
(消費者安全調査委員会)



国際連携活動

PREVCON2023



国内連携活動

ハンドブック作成のための
こどもを対象としたヒアリング
(東京都子供政策連携室)



「かかりつけエンジニア」事業への協力
(日本技術士会登録 子どもの安全研究グループ)



消費者安全法第23条第1項の規定に基づく
事故等原因調査報告書

学校の施設又は設備による事故等

令和5年3月3日

消費者安全調査委員会



[子供の事故予防ハンドブック](#)



[NHKスペシャル「いのちを守る学校に 調査報告“学校事故”」](#)

取材対応

総件数 79件

主なもの

- ・ 5月 久喜市保育園遊具ロープ絡まり事故 5件
- ・ 9月 岡山県津山市 保育園預け忘れ車内置き去り 2歳児死亡 6件
- ・ 2月 給食のうずら卵窒息小 1 死亡事故 11件
- ・ 転落事故関係の取材依頼 11件



取材対応

2月 給食のうずら卵窒息小1死亡事故 11件



うずらの卵で窒息か…小1男の子の死亡事故受け小児科医「年長～小2ぐらいまでリスク」子供の食事の注意点

2024/02/27 17:23配信

f t LINE

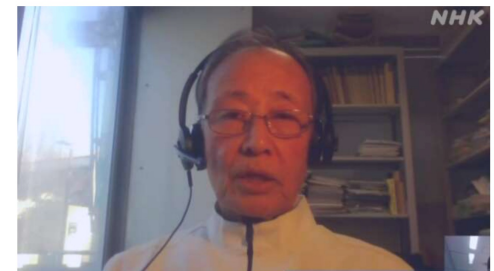


男児給食詰まらせ死亡 広がる影響 注意点は？専門家に聞く

2024年2月27日 16時20分

「半分に切って出す」など対策も

小児科医で子どもの事故に詳しいNPO法人「Safe Kids Japan」の山中龍宏理事長に、事故について聞きました。



要望書の提出

(子どもの事故予防地方議員連盟と連名で)

1 歯の生え変わり期のこどもの咀嚼、嚥下について、医学的な見地から調査研究を行い、誤嚥や窒息等の事故が起きやすい食べ物、その調理法について検討し、その結果を公表してください。

歯の生え変わり期の咀嚼・嚥下
医学的な調査・研究



食材や調理法の検討・公表

「聞かせてください」

投稿総数 13件

投稿内容を事業者や自治体所管課へつなぎ、改善につながったもの 3件

- 幼稚園で窒息の危険性のある給食の食材（ミニトマト、枝豆、カップゼリー）をメニューから外したとの報告
- 公園内に設置されたエア遊具で熱傷 公園の所管課より謝罪と改善の報告
- 室内プールの床で足裏熱傷 事業者より素材を変更すると報告

「聞かせてください」

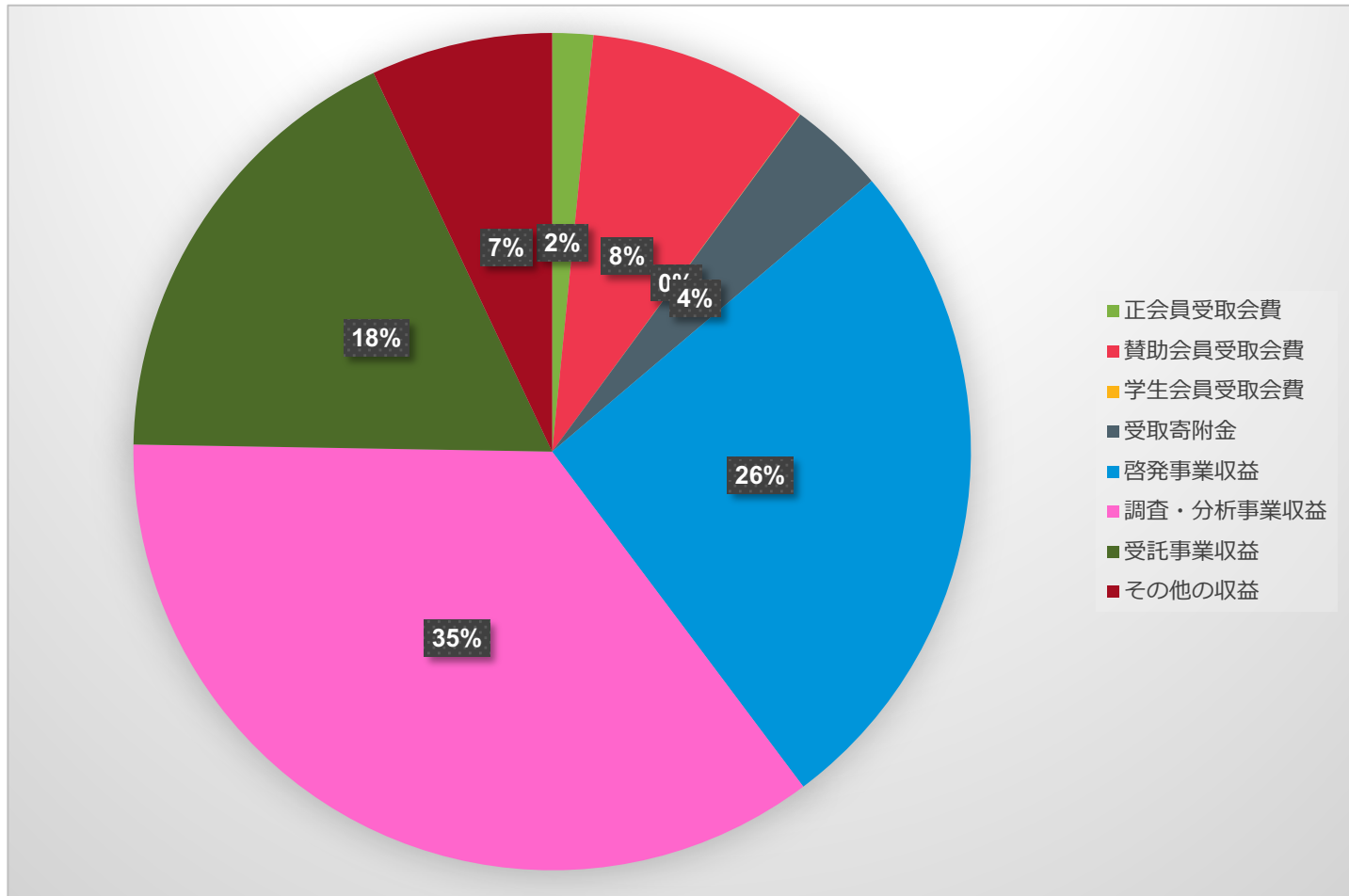
投稿内容を事業者につないだが、改善につながっていない重大事案

1歳7ヶ月の男児が一人で除湿剤で遊んでいた。母親が気付いたとき、蓋が剥がれて、男児のズボンが濡れていた。ズボンを脱がせてみると、両側大腿内側と下腿が広範囲で発赤していた。小児科を受診したところ、同部位の熱感を指摘された。除湿剤の成分である塩化Caが水分に溶解したものが皮膚に炎症を起こしたことが推測された。

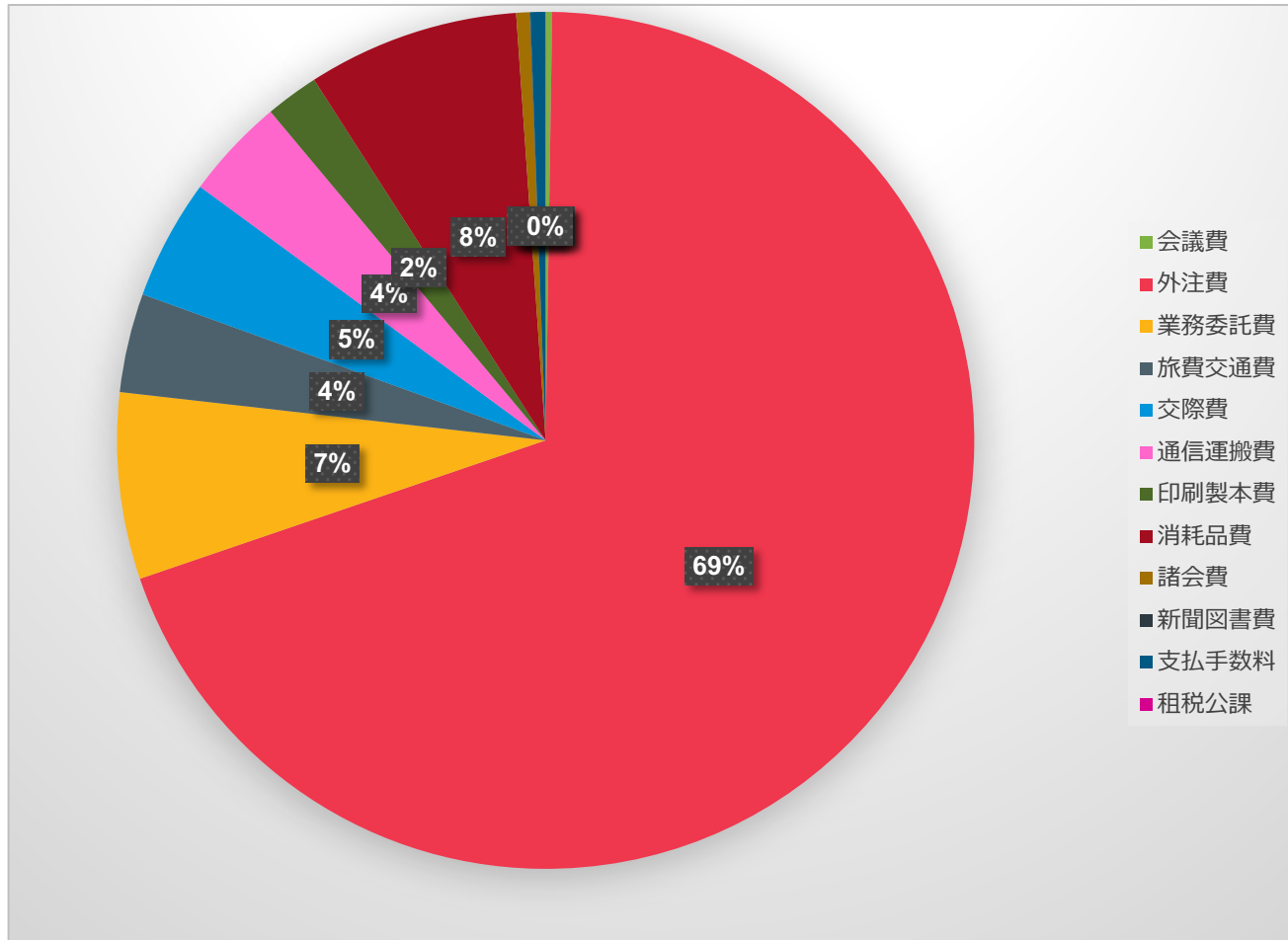
製品のHPを見ると、溜まった水を容易に捨てられるように「水捨てシール」というものが作られている。こどもでも簡単に蓋を剥がせてしまうと、今回のように溶液を身体にかぶってしまう恐れがあるだけでなく、飲んでしまう恐れすらあると考える。その場合、消化管穿孔などのリスクもある。

こどもでは水が捨てられないような構造上の工夫が必要であると考える。

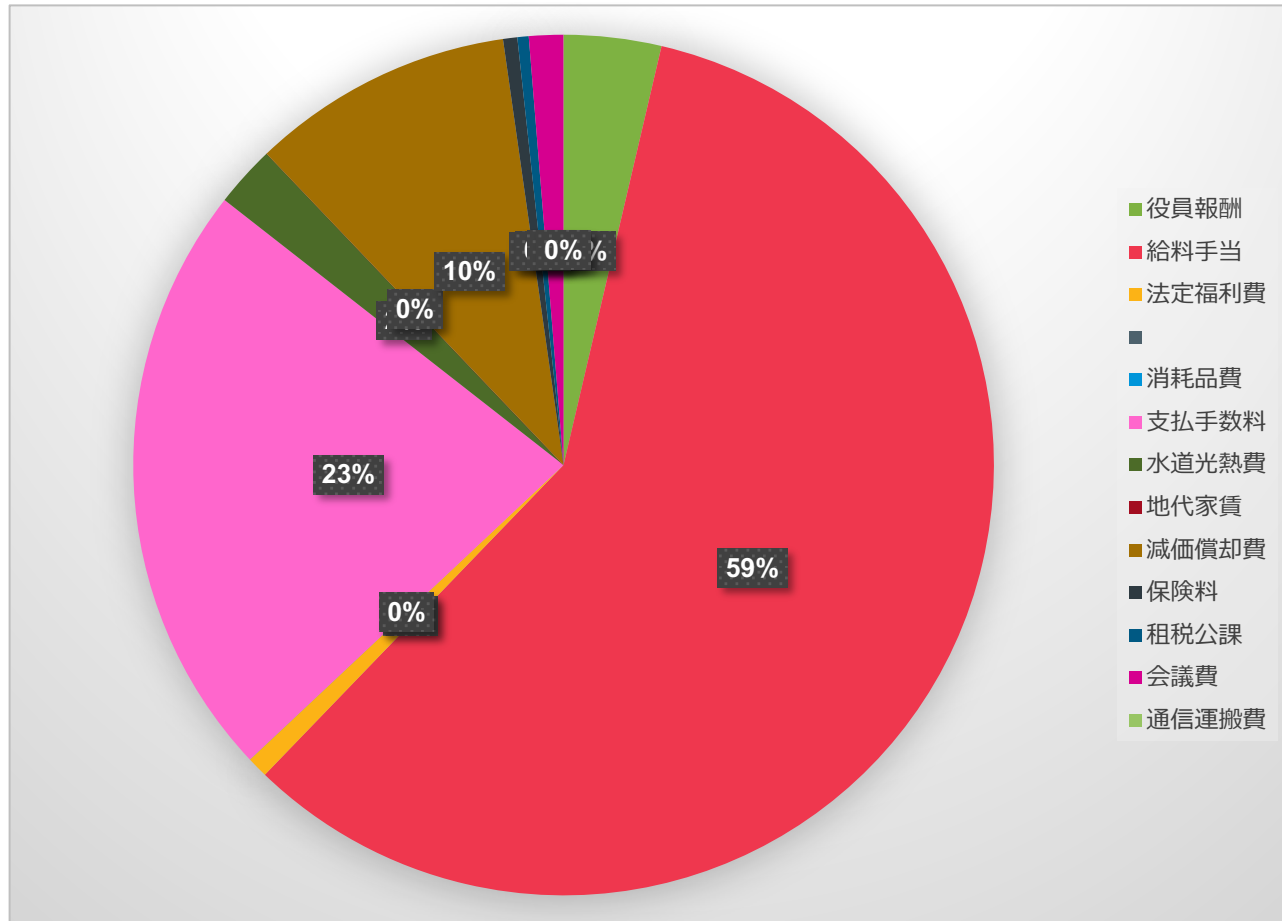
収入（14,114,122円）の内訳



支出：事業費（4,335,022円）の内訳



支出：管理費（2,732,592円）の内訳



2024年度 理事・監事



理事長 山中 龍宏

理 事 賀藤 均、奥山 真紀子、藤原 武男
西田 佳史、本村 陽一、北村 光司、大野 美喜子

監 事 森山 哲

2023年度 賛助会員、プロジェクト・パートナー、応援企業

